

本単元で育む主な情報活用能力

E-STEP 4, F-STEP 2

F-STEP 3, F-STEP 4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・様々なジャンルの本を読むことで、今後の読書活動を広げる。
 - ・様々な文体や構成の読み物に触れ、その良さに気づく。
 - ・様々な本を読む中で、知らなかったことに興味をもつ。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・様々なジャンルがあることを視覚的・体験的に知る。

単元における学習の展開（全15時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (全14時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、文章の構成、書き方を学ぶ ・調べて分かったことをまとめる練習を行う ・様々な本や資料で調べ、知識を広げたり考えを深めたりする
第2次 (1時間)	<p>○本で世界を広げよう（☆） 6つのジャンルの本をそれぞれ6~7冊準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三島由紀夫、宮沢賢治などの国内文学 ・「モモ」「そして誰もいなくなった」などの海外文学 ・「5分後シリーズ」やエッセイなど比較的読みやすい短話 ・「14歳からの哲学」「心にひびくマンガの名言」などの哲学系 ・「少年のための少年法入門」「お金で死なないための本」などの社会科学系 ・「キリン解剖記」「カメの甲羅はあばら骨」などの生物系 <p>各班で7分ずつ、時計回りに移動する。</p>

本時のねらい

様々なジャンルの本を読んでみよう。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (3分)	<p>1. 授業の流れの確認</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「味見読書」のねらいを確認する。 ②机にある本のどれか1冊をまず読んでみる。 ③自分の興味と異なれば、他の本と交換する。班員との交換も可能。 ④7分間、黙読する。情報カードの記入。 ⑤7分ごとに、次のテーブルに移動する。 	<p>学校司書と連携し、テーブルごとに本の準備をする。</p>
展開 (42分)	<p>2. それぞれ7分ずつでテーブルを移動していく。</p>	<p>タイマー及び様々なジャンルの本を準備する。</p> <p>すぐに読み始められるように、静かで落ち着いた雰囲気をつくる。あらすじや目次を見て、本への興味を持てるように工夫されていることも、本を選ぶうえでのアドバイスとする。あとがきに筆者の思いが現れることにも言及する。</p>
まとめ (5分)	<p>3. 振り返り</p> <p>「全体的な感想」と「本についての感想（情報カード）」の両方を書く。</p> <p>「本についての感想」は、気に入った本とその理由、また、興味がわかかなった本についても書く。気に入った本の貸し出し手続きする。</p>	<p>今まで興味のなかった本でも実際に読んでみると、自分が思っている以上に読めることなどに気づくように、感想を掲示する。</p>

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

昨年度から味見読書を実施しているが、生徒は予想よりも長く本を読むようになるため、1テーブルの時間配分を少し長く設定した。取組み後は、多様な分類からの貸し出しが増えた。ライトノベルが好きな生徒も、社会科学系の本を楽しそうに読む姿が見られた。

本校は朝読書時に小音量でBGMを流している。今回の味見読書でも、リラックスした雰囲気の中で、集中できる環境づくりのためにBGMをかけた。ソファや畳スペースの設置が難しくても、どの学校でも取り入れられる工夫だと感じる。



図書館ではじめの説明を聞く生徒